

15. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI = Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。

●今年度の MSJ-SI につきましては当記事の掲載までに既に次のように開催されている予定です。詳細は数学通信にて改めて報告させていただきます。組織委員会の方々の尽力はもとより、多くの方々のご協力を賜りました。ありがとうございました。

○2010 年度 MSJ-SI

テーマ : Development of
Galois-Teichmüller theory
and anabelian geometry

日時 : 2010 年 10 月 25 日～30 日

場所 : 京都大学数理解析研究所

組織委員 : 中村博昭(委員長), 玉川安騎男,

Florian Pop, Leila Schneps

プログラム等につきましては次のウェブページをご覧ください。

<http://mathsoc.jp/meeting/msjsi10/>

●来年度の MSJ-SI の予定は以下の通りです。

○2011 年度 MSJ-SI

テーマ : Nonlinear dynamics
in partial differential equations

日時 : 2011 年 9 月 12 日(月)～21 日(水)
(受付 9 月 11 日(日))

場所 : 九州大学医学部百年記念講堂

組織委員 : 栄伸一郎(委員長), 川島秀一
隠居良行, 山田直紀, 仙葉隆,
小林孝行, 三沢正史, 辻川亨,
池島良

Plenary speakers :

Matano, Hiroshi (Univ. of Tokyo)

Fusco, Nicola (Univ. of Napoli)

Pego, Robert (Carnegie Mellon Univ.)

Feireisl, Eduard (ASCR)

Todorova, Grozdena (Univ. of Tennessee)

詳細については以下のウェブページをご覧ください。

[http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/
~ichiro/MSJ2011/MSJ2011.html](http://www2.math.kyushu-u.ac.jp/~ichiro/MSJ2011/MSJ2011.html)

●2012 年度の MSJ-SI につきましては昨年度数学通信第 3 号 (1 1 月発行) で行なった 2 月 1 9 日締切のテーマ募集に対して応募がなく, 今年度数学通信第 1 号 (5 月発行) において締切を 9 月 1 0 日まで延期しました。2 件の応募があり, その選考結果につきましてはウェブと数学通信でお知らせする予定です。

●2013 年度 MSJ-SI テーマ公募について
学術委員会では 2013 年度 (平成 25 年度) の MSJ-SI についてテーマ公募を行います。学術委員会のウェブページ

<http://mathsoc.jp/comm/scientific/>

または別ページにある公募のお知らせをご参照ください。

MSJ-SI は, 以下の特徴を持ちます。

- ・数学会から 200 万円の助成金が提供されます。(実際に必要な額にはこれだけでは不十分ですが, 学術委員会として対応を考えているところです。)

- ・数学会事務局が事務手続きについて可能な範囲において援助を行います。(詳細については下記メールアドレスまで問い合わせください。)

- ・東アジアの数学会の協力のもとで, 韓国と台湾から限られた人数の大学院生, 若手研究者を, 数学会が招待しています。(この部分については数学会理事会の担当となっています。)

- ・専門家向けの講演とともに, 大学院生・若手研究者向け, あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています。(これを MSJ-SI の方向とお考えください。)

数学会からのサポートについては検討中の課題もあり, それにつきましては随時, 数学通信とウェブによって会員の皆さんにお知らせしたいと考えております。

公募に申請される方は, どうか締切までに, 研究集会のテーマ, 提案理由, 主要な講演者 (事前承諾不必要) を古田幹雄

([furuta\(at\)ms.u-tokyo.ac.jp](mailto:furuta(at)ms.u-tokyo.ac.jp)) までお送りください。また, 上記メールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

●ウェブページについて

学術委員会ではウェブページをリニューアルしました。過去の集会の報告集の情報をわかる範囲で更新しました。メインページには英語版もありますので、海外の研究者に MSJ-SI 等について紹介される際にはどうかご活用ください。

特に、過去の MSJ-IRI, MSJ-RW の開催関係者の方たちにはお願いします。もし、ウェブページの該当ページの記述にミス（集会の英語名など）、記載漏れ（報告集の出版情報など）、その他問題点がありましたら古田 (furuta (at) ms.u-tokyo.ac.jp) までご連絡ください。

(学術委員長 古田幹雄 記)